

共生社会の実現に向けた ともに学ぶ教育環境づくり

平成30年度第1回総合教育会議

平成30年5月29日

「誰一人取り残さない」教育の推進

SDGs – 持続可能な開発目標
～ 2030年の世界の姿 ～

17目標
169ターゲット



【ゴール4】 質の高い教育をみんなに
全ての人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



共生社会の実現に向けた 教育委員会の取組

- 小・中学校におけるともに学ぶ環境づくり
 - ・ 「みんなの教室」を小・中学校のモデル校7校で実施
- 高等学校におけるともに学ぶ環境づくり
 - ・ インクルーシブ教育実践推進校パイロット校の志願者が前年比増(H29:31名→H30:41名)
 - ・ 県立高校3校を通級指導導入校に指定し、障害に応じた特別の指導を実施
- 特別支援学校の整備について
 - ・ 医療的ケアが必要な子どもたちが安全に学べる環境づくりとして、看護師が必要な16校に配置
 - ・ 特別支援学校のセンター的機能を活用し、小・中学校における医療的ケアが必要な子どもたちに対する支援体制について、市町村と検討
- 「いのちの授業」をすべての学校で実施
 - ・ 平成29年度「いのちの授業」大賞応募作品数 6,026 作品
(昨年比761作品増)
 - ・ 平成29年度「いのちの授業」実践報告数 202,314 件
(昨年比113,511件増)



「みんなの教室」の授業風景



「いのちの授業」風景

<インクルーシブ教育の理解啓発の取組>

○ インクルーシブ教育推進フォーラムの開催

- ・ 「地域とともに作るインクルーシブな学校」をテーマとしたパネルディスカッションを実施

第1回	平成29年7月28日（金）	参加者数
	小田原市民会館 大ホール	223名
第2回	平成29年8月23日（水）	
	ヨコスカ・ベイサイド・ポケット	218名
第3回	平成29年10月7日（土）	
	伊勢原市民文化会館 小ホール	201名
第4回	平成29年10月28日（土）	
	大和市保健福祉センター ホール	208名
<hr/>		計 850名



「インクルーシブ教育推進フォーラム」風景

<人権啓発の推進の取組>

○ 学校・地域に対する人権への理解促進

- ・ 人権啓発に係るポスター（人権啓発4,480部、相談窓口1,025部、スクールセクハラ相談窓口1,025部）を作成し、学校、教育関係機関、市町村等に広く配付
- ・ 学習教材「人権学習ワークシート」等を作成（小中学校編2,700部：高校編1,700部）し、公立幼稚園、小、中、高、特別支援学校に配付
- ・ 啓発冊子「心みつめて」を作成（8,000部）し、県立学校及び公立小中学校、社会教育施設などに配付

○ 新たな人権課題への対応

- ・ 教職員向けに「性的マイノリティの理解のための啓発資料」を作成（H26:22,000部）
- ・ 教職員を対象とした研修講座を実施（H28: 3講座、H29: 5講座、H30: 2講座[予定]）

共生社会の実現に向けた 知事部局の取組

- 「ともに生きる社会かながわ憲章」の制定
 - ・ ともに生きる社会の実現をめざし、平成28年10月14日に制定
- 「ともに生きる社会かながわ推進週間」の実施
 - ・ 平成29年度は、7月24日から7月30日の期間で実施
 - ・ 交通広告、インターネット広告、チラシ配布、ポスター掲示、Tシャツを着用した窓口業務
- 共生の理念を広めるイベント「みんなあつまれ」の開催
 - ・ 平成29年度は3月17日、18日に横浜赤レンガパークで開催（約11万3千人が来場）
 - ・ 音楽、スポーツ、ダンスを楽しみながら交流し、共生の理念を体感



<人権啓発の推進>

○ 「人権メッセージ展」の開催

- ・ 平成29年度は12月2日、3日にみなとみらい駅クィーンズスクエアで開催（約2,600人が来場）
- ・ 平成30年度は12月8日、9日に開催予定

○ スポーツ組織との連携

- ・ 湘南ベルマーレのホームゲームやファンイベントでの人権啓発活動
- ・ 保育園における人権教室活動



<新たな人権課題に対する事業の実施>

○ 性的マイノリティに対する支援事業の実施(H30年度～)

- ・ 派遣型個別専門相談（当事者またはその家族、支援者の要望に応じて専門相談員を派遣）
- ・ 「かながわ にじいろトーク」（10～20代対象の交流会）
- ・ 児童養護施設の職員等に対する研修会
- ・ 中小企業の人事担当者に対する研修会

